

ブリーザーからのオイル吸込

代注3

ブリーザーからオイルを吸込みを、ターボからのオイル洩れと判断され交換される事が多発しています。下記の事項を必ず確認の上対処下さい。ターボに異常が無く交換された場合保証の対象になりません。

白煙が出て出力低下が起きる(現象)



ブリーザーホースからターボ吸入側へ瞬時に、多量のオイルを吸込み、排気管から白煙、オイル漏れとなり、ひどい場合は燃焼室内でプラグがかぶり、出力不足の現象が発生します。

ターボ給気ハウジングにオイルが溜まる(写真参照)、インタークーラーに多量のオイルが付着している場合は可能性大です。

確認事項

・ ブローバイ過多の確認

タペットカバー内部のオイルはシリンダーブロックを通過してオイルパンに落下、戻る。ブローバイが増加してくると、オイルの落下を妨げタペットカバーに溜まるようになる。そのオイルがブリーザーから吹き出し上記現象を起こす。

- ・ タペットカバーブローバイ抜けポートの確認
- ・ PCVバルブの作動確認
- ・ 特にオイル粘度が高くなる冬季に発生しやすい。



ブローバイホース接続
パイプ部の詰り



← ガス抜け方向



PCVバルブ吸入ポートの詰り